



株式会社スパンクリートコーポレーション

会社説明会

2017年6月23日

会社説明会

1. 社長あいさつ・・・代表取締役社長 浮田 聡
2. 会社概要
スパンクリート製品の概要
営業概況等説明・・・ 営業本部長 井上 孝広
3. 5 5 期業績概況説明・・・管理本部長 井上 卓郎

会社概要

- 本社 東京都文京区湯島 2 丁目 4 番 3 号
- 営業所 ・ 宇都宮営業所 ・ 仙台営業所
- 工場 宇都宮工場
- 設立 1 9 6 3 年 3 月
- 資本金 3 2 億 9 , 5 9 0 万円
- 従業員 8 6 名 (外 派遣社員他 1 5 名)
- 事業内容 ・ スパンクリート事業 ・ 不動産事業

沿革

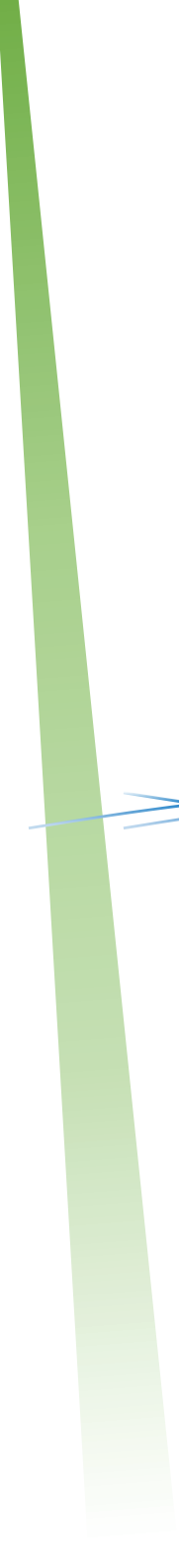
1963年	3月	設立 資本金 1 千万円 商号 スパンクリート製造株式会社
64年	2月	宇都宮市に生産設備完成 営業開始
82年	12月	宇都宮工場 J I S 指定工場となる
83年	3月	スパンクリート合成床工法 販売開始
89年	11月	茨城県岩瀬町（現 桜川市）に岩瀬工場完成
91年	2月	社名を現社名に変更
	9月	株式を公開 日本証券業協会店頭登録（J A S D A Q）
93年	5月	岩瀬工場 J I S 指定工場となる
2004年	3月	明星プレテック(株)の株式 1 0 0 %取得
05年	5月	宇都宮工場・岩瀬工場・設計部 I S O 9 0 0 1 取得
06年	3月	プレテック(株)解散
	10月	普通株式 1 株を 2 株に分割
10年	11月	岩瀬工場閉鎖 生産設備を宇都宮工場に統合
12年	6月	J R 東日本とホームドア設置用床の共同特許
15年	11月	宇都宮工場 ガスコージェネレーションシステム導入
17年	2月	高橋カーテンウォール工業(株)と業務提携 新製品『クレスタウォール』販売開始

工場(宇都宮工場)



生産能力 約 45,000 m^2 /月

土地面積 18,608 坪



製品概要



一般製品

～空洞プレストレストコンクリートパネル～

(JIS A 6511)

用途別の種類は、2種類（壁,床）。

<種別>

床・壁 : 30,45 種

<厚さ>

床 (S) : 70～300 mm (7種類)

壁 (W) : 70～150 mm (4種類)

<製造幅>

床・壁 : 1～1.2m , 1.8～2.2m

～JIS A 6511 に準拠する製品～

用途別の種類は、3種類（壁,床,合成床）。

<種別>

床・壁・合成床 : 30～60 種

<厚さ>

床 (S) : 70～350 mm (14種類)

壁 (W) : 70～200 mm (8種類)

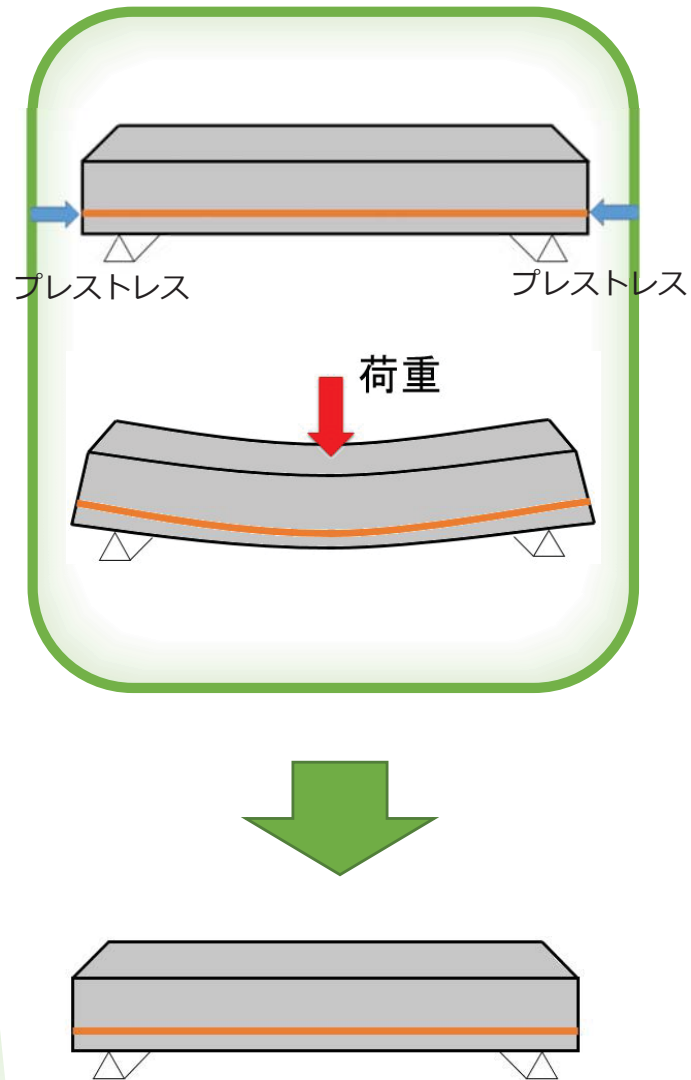
合成床 (C) : 70～350 mm (14種類)

<製造幅>

床・壁・合成床 : 1～1.2m , 1.8～2.2m



プレストレストコンクリートの特性

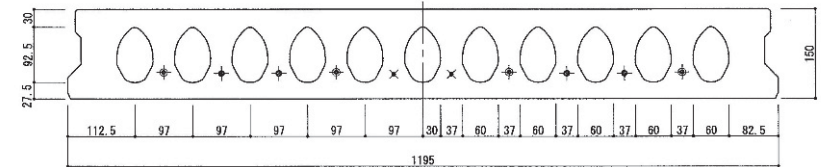
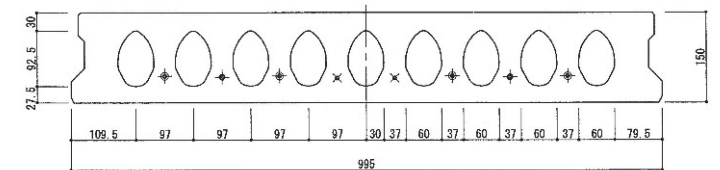


12. スパンクリート床パネル 規格S・45種-150厚

2007.8改定

[呼び幅1mパネル]
使用PC鋼線
下筋
2-2.9mm3本よりPC鋼より線
2-7本より9.3mmPC鋼より線
4-7本より12.7mmPC鋼より線

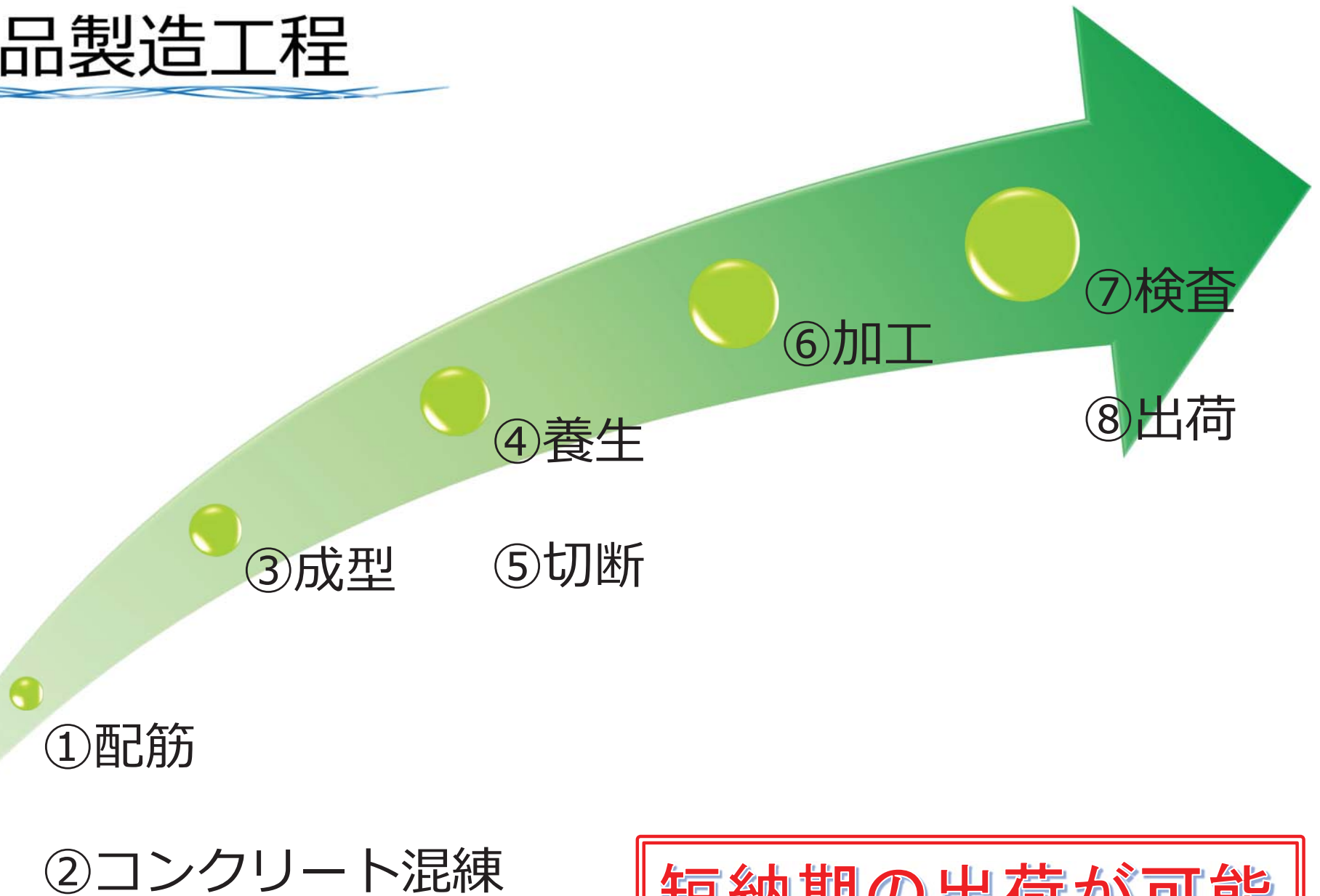
[呼び幅1.2mパネル]
使用PC鋼線
下筋
2-2.9mm3本よりPC鋼より線
4-7本より9.3mmPC鋼より線
4-7本より12.7mmPC鋼より線



注：PC鋼線の横方向の配置は入れ替わることがあります。条件により、これ以外の配筋も可能です。

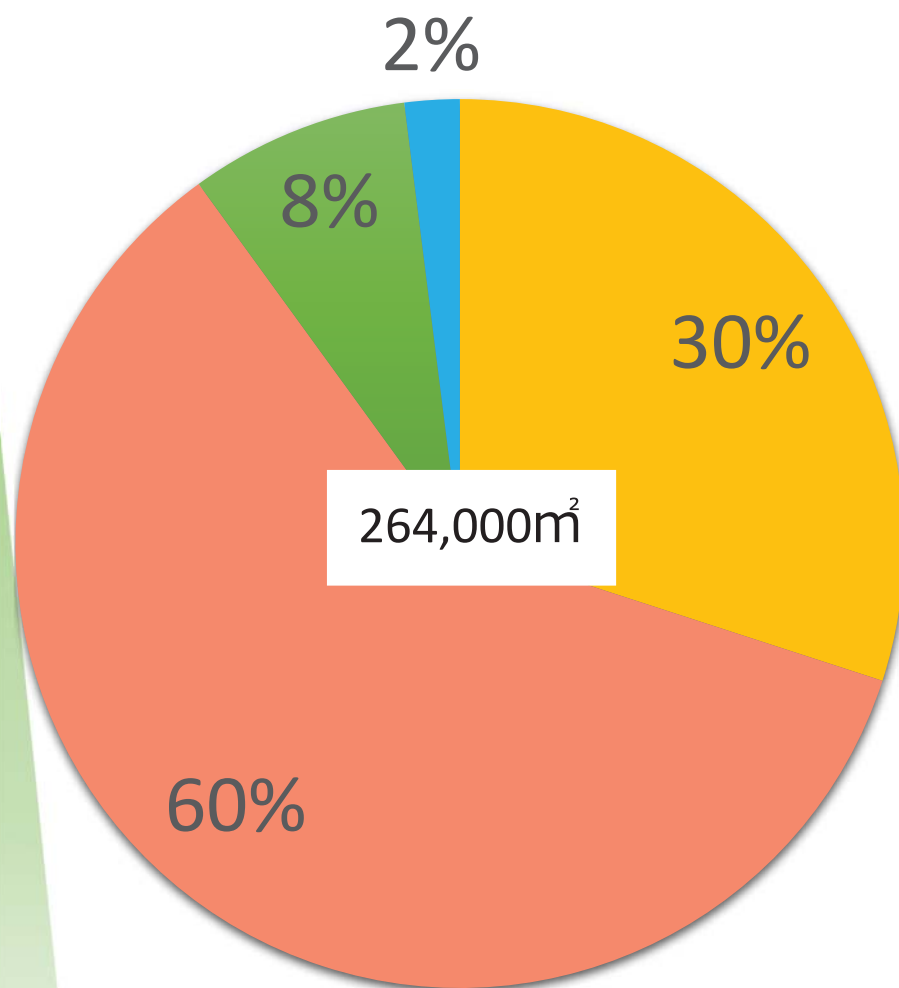


製品製造工程



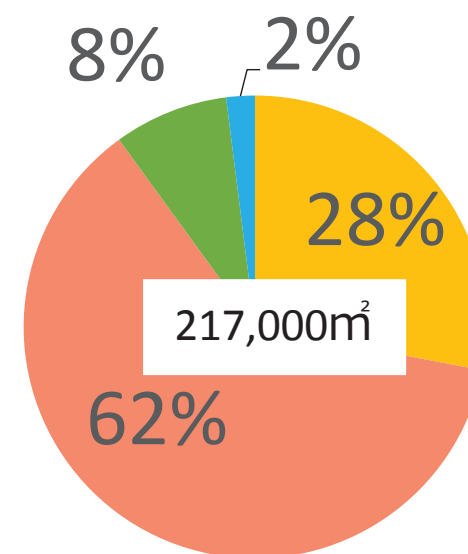
短納期の出荷が可能

主な用途

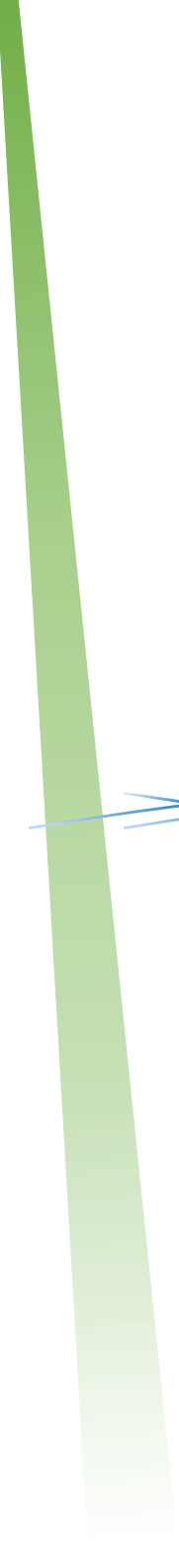


55期 用途比率（数量）

- 建築（床）
 - ・ 超高層マンション ・ 集合住宅
- 建築（壁・床）
 - ・ 物流倉庫 ・ 工場 ・ 店舗ビル ・ 学校
- 鉄道関係
 - ・ 新幹線の防音壁 ・ プラットフォーム
 - ・ 駅舎コンコース ・ 高架橋
- 土木その他



54期 用途比率（数量）



実績紹介



施工実績 (1)

＜駅＞ Mスラブ



乗客の安全性向上のためホームドアが設置され、ホームドア設置部分の床に当社Mスラブが採用されました。既に多数の路線で採用され、東京オリンピックに向けて数多くの駅でホームドア設置が計画されております。今後需要の継続が見込まれる製品です。

施工実績 (2)

＜冷蔵施設＞ 外壁・間仕切壁



日本最大級の冷凍倉庫物件です。外壁、間仕切り、床の一部分に採用され当社の長い歴史の中でも最大規模の倉庫実績となりました。



間仕切壁施工写真

施工実績 (3)

＜物流倉庫＞ 間仕切壁・合成床



合成床施工写真

今後受注が期待される物流倉庫に間仕切壁及び合成床が採用されました。

施工実績（4）

＜マンション＞ 合成床



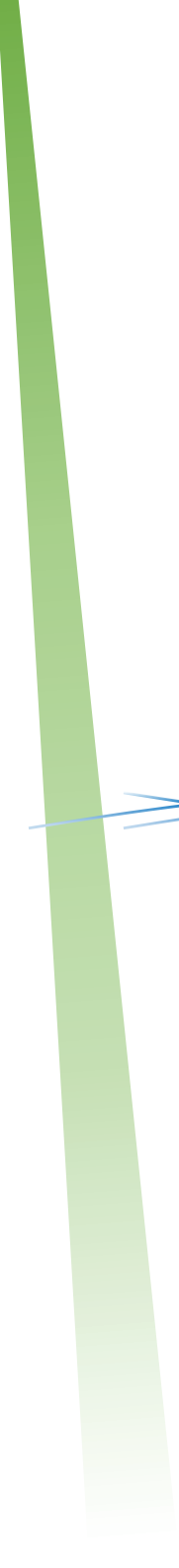
マンションの床にスパンクリート合成床工法が採用され、工期短縮に寄与しました。

施工実績 (5)

＜研修センター＞ 外壁



製品の特性を最大限に活かし、途中に横目地を有しない意匠性に富んだ外壁に採用されました。

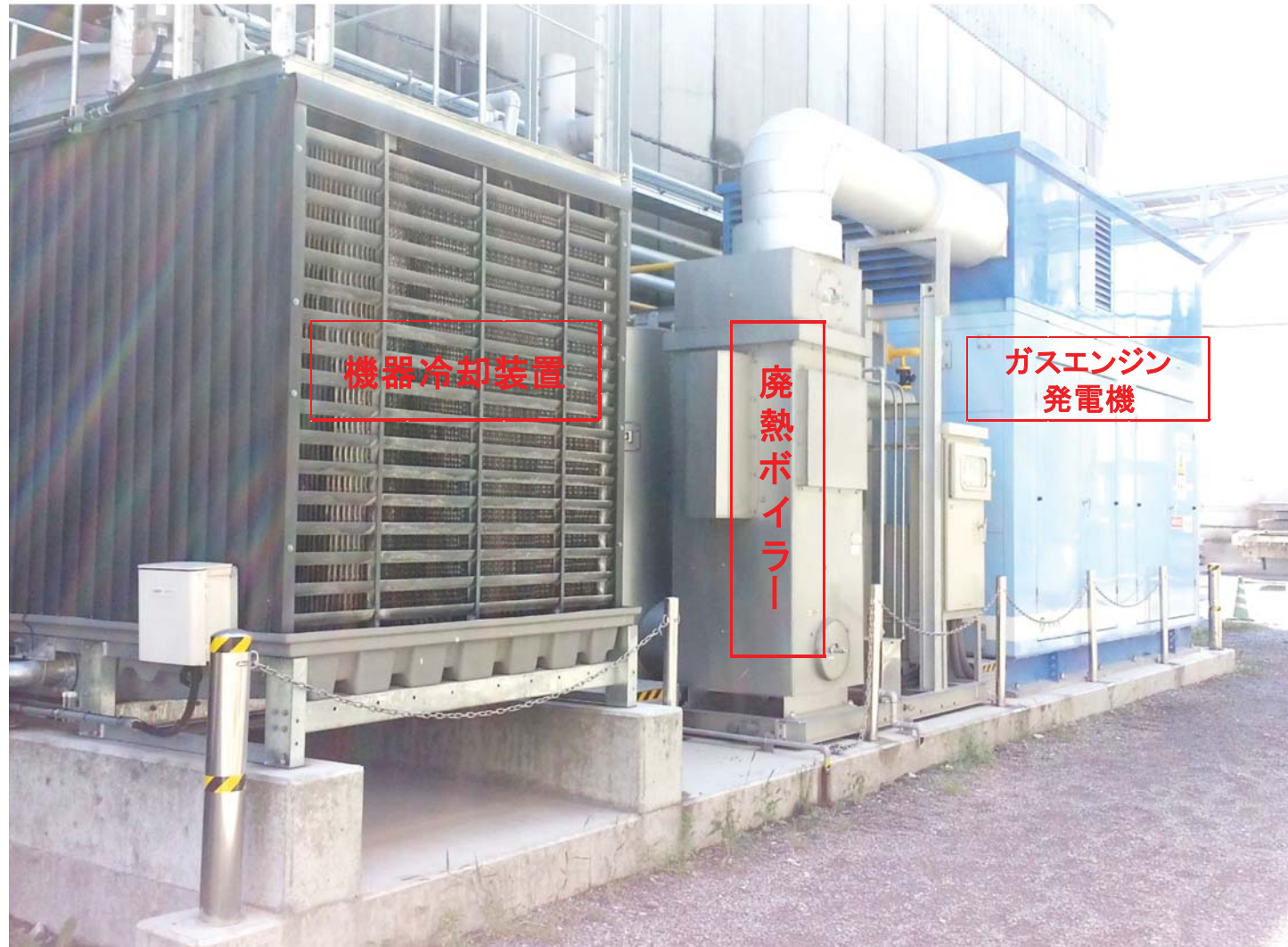


現在の取組



環境配慮への取組

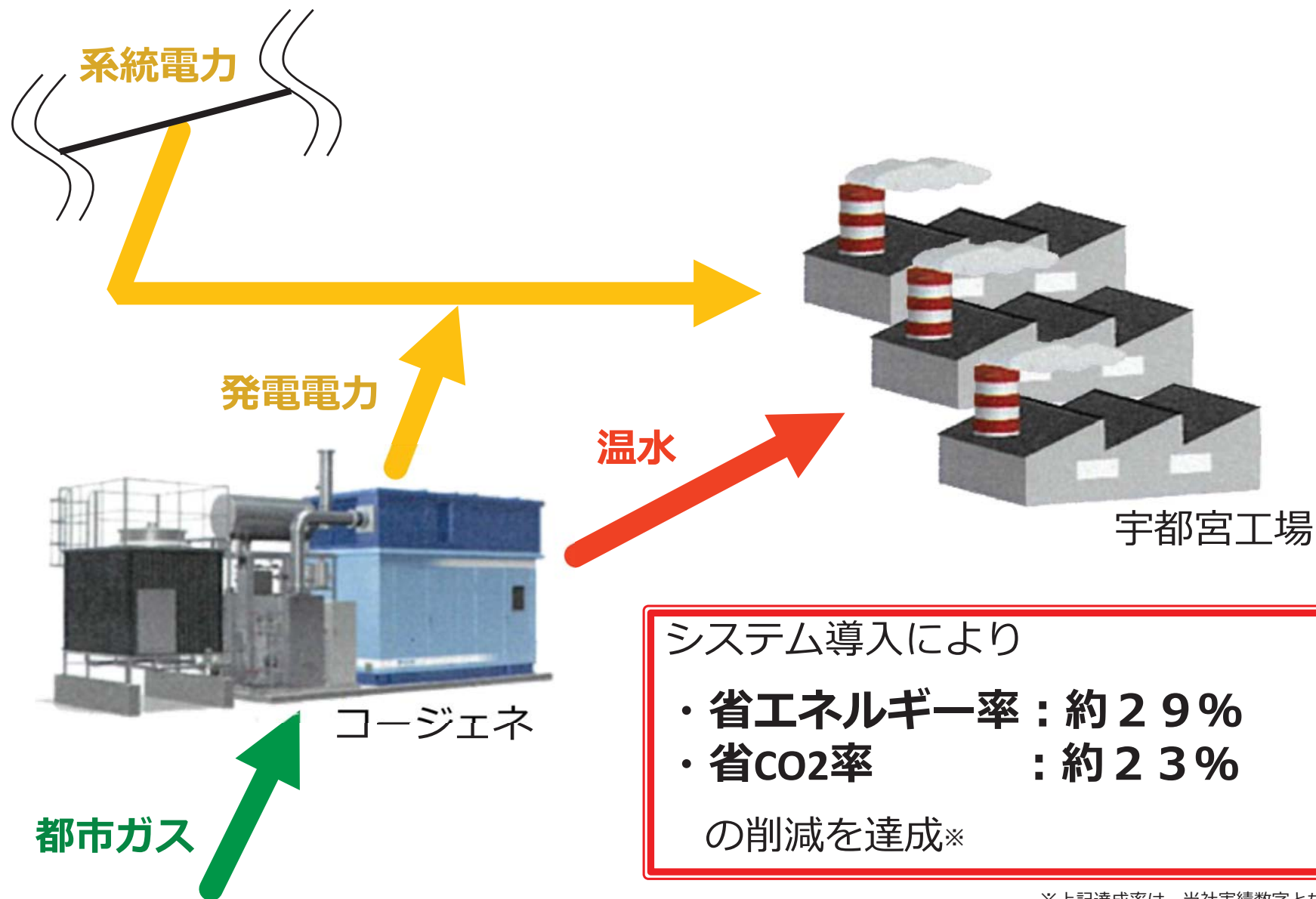
高効率コージェネレーションシステムの導入



宇都宮工場に導入したコージェネレーションシステム

環境配慮への取組

高効率コージェネレーションシステムは、ガスエンジン発電機で電力を生みだしつつ、廃熱を利用して温水を取り出します。



※上記達成率は、当社実績数字となります。

工場作業のオートメーション化への取組

以前までは、パネル切断時に作業者が機械の操作等を行っていましたが、切断機の自動化により、省力化を行っております。



<自動化前の作業内容>

- ・切断機のセット
- ・切断作業（野書き・機械操作）
- ・製品規格の記入



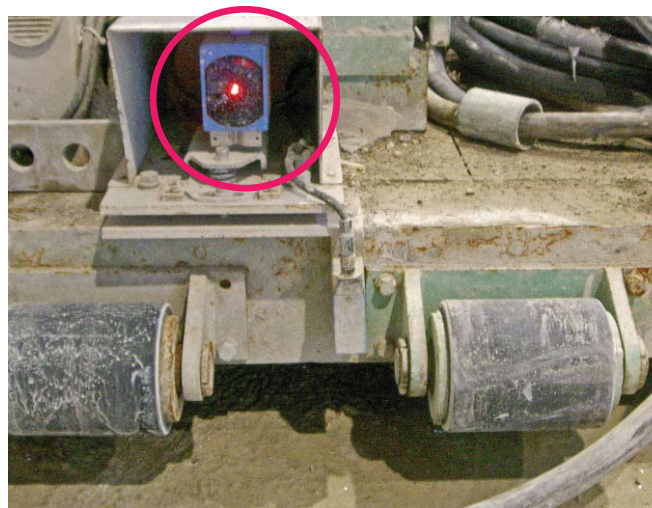
<自動化後の作業内容>

- ・切断機のセット
- ・~~切断作業（野書き・機械操作）~~
- ・~~製品規格の記入~~

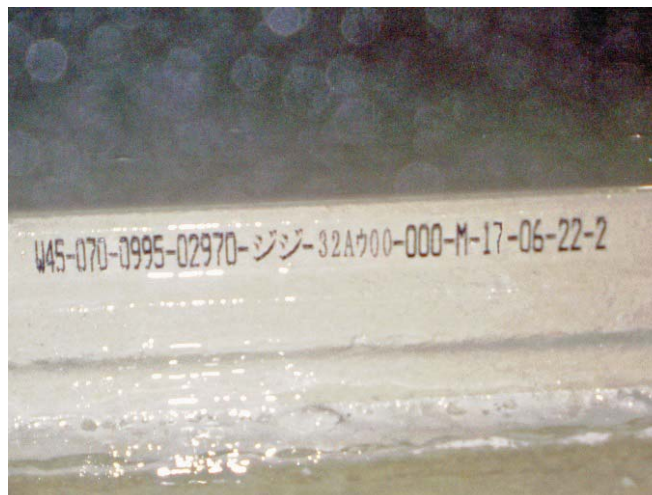
省力化

工場作業のオートメーション化への取組

製品の切断作業と製品側面に記載している規格の記入作業を自動化するために、以下の装置を導入しております。



切断機背面にレーザー測長機を備え、リフレクターを利用し、切断機の移動距離をリアルタイム計測することによって、製品の自動切断を行っております。



切断機側面に配したインクジェットプリンターによって規格の記入を自動で行っております。

施工訓練施設

弊社岩瀬工場の敷地内に実大訓練施設を設け、販工店への勉強会を定期的に行い、施工技術の向上を図っております。



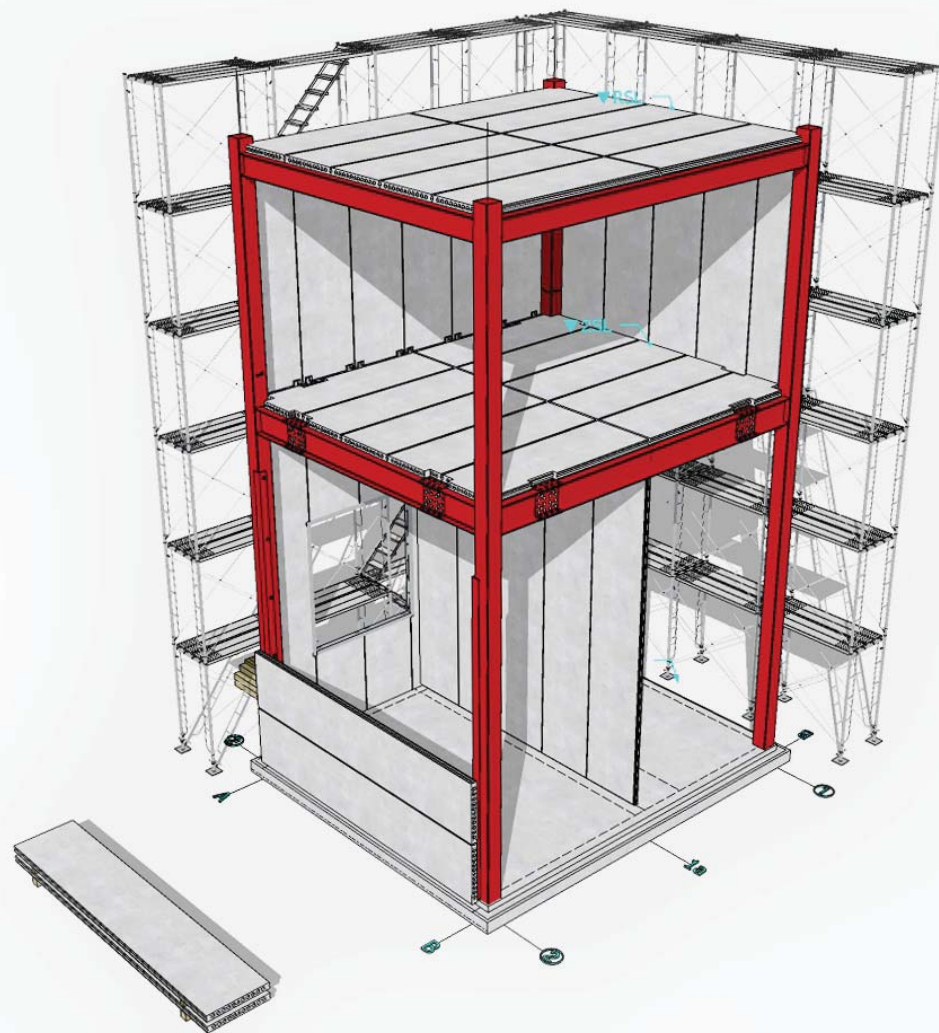
施設概要

- ・ 躯体構造：鉄骨造
- ・ 施設高さ：約10m
- ・ 階高：6.3m(1F)
3.7m(2F)
- ・ 建築面積：約30m²

弊社岩瀬工場敷地内に新設した施工訓練施設の写真

施工訓練施設

弊社岩瀬工場の敷地内に実大訓練施設を設け、販工店への勉強会を定期的に行い、施工技術の向上を図っております。



訓練内容

- ・ 外壁(横使い,縦使い)の施工
- ・ 間仕切り壁の施工
- ・ 床板の施工

など

弊社岩瀬工場敷地内に新設した施工訓練施設のイメージ図

施工訓練施設

写真は、販工店への勉強会開催風景となります。
施工の難しい間仕切壁取付の説明を実際に重機を活用し説明しております。



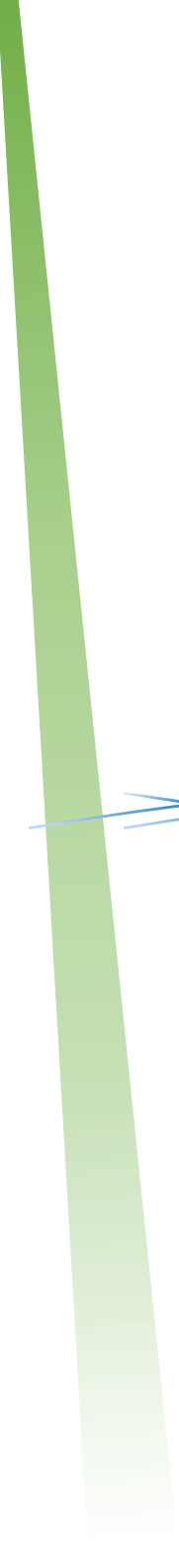
新製品の共同開発

高橋カーテンウォール工業(株)と「クレスタウォール」を共同開発いたしました。
クレスタウォールは、PC（プレキャストコンクリート）カーテンウォールに使われる
高橋カーテンウォール工業の施工技術を導入し、ロッキング方式によって高い耐震性能を有する外壁となっています。



スパンクリート今後の取組

- 物流倉庫、冷蔵倉庫合成床・間仕切壁・外壁の販売強化
- 集合住宅合成床板の安定受注に注力
- 付加価値の高い新製品の開発と技術力の強化
- 生産効率を追求し、製造コストの削減
- 施工労働力の確保と施工技術の向上



業績概況



比較貸借対照表<資産の部>

単位:百万円

	16年3月期	17年3月期	増減	摘要
流動資産	2, 920	2, 830	▲90	
現金及び預金	2, 003	1, 374	▲629	
売掛債権	474	948	474	
完成工事未収入金	23	39	16	
有価証券	285	285	0	
たな卸資産	113	151	38	
未成工事支出金	-	0	0	
その他	19	30	11	
固定資産	4, 956	5, 147	191	
有形固定資産	4, 181	4, 265	84	
建物・機械等	1, 128	1, 131	3	
土地	3, 052	3, 052	0	
リース資産	0	0	0	
建設仮勘定	0	81	81	
無形固定資産	12	69	57	
投資その他	762	813	51	
投資有価証券	717	772	55	
その他	45	40	▲5	
資産合計	7, 876	7, 978	102	

比較貸借対照表<負債の部>

単位: 百万円

	16年3月期	17年3月期	増減	摘要
流動負債	978	995	17	
買掛債務	75	138	63	支払手形は発行しておりません
短期借入金	570	500	▲70	
1年内返済予定の長期借入金	101	93	▲8	
未払費用・未払金	136	159	23	
未成工事受入金	6	4	▲2	
その他	89	99	10	
固定負債	761	716	▲45	
長期借入金	254	161	▲93	
長期未払金	3	3	0	
再評価に係る繰延税金負債	204	204	0	
繰延税金負債	131	147	16	
その他固定負債	168	199	31	
負債合計	1,740	1,711	▲29	

比較貸借対照表<純資産の部>

単位:百万円

	16年3月期	17年3月期	増減	摘要
純資産の部	6, 136	6, 266	130	
株主資本	5, 886	5, 978	92	
資本金	3, 295	3, 295	0	
資本剰余金	3, 696	3, 696	0	
利益剰余金	▲735	▲643	92	
自己株式	▲370	▲370	0	
評価・換算差額等	249	288	39	
有価証券評価差額金	241	280	39	
土地再評価差額金	7	7	0	
負債・純資産合計	7, 876	7, 978	102	

・自己資本比率 77. 9% 78. 5%

比較損益計算書

単位: 百万円

	16年3月期	17年3月期	増減	摘要
売上高	2, 249	2, 506	257	スパンクリート事業 +244百万円増収 不動産事業 + 13百万円増収
売上原価	1, 955	1, 908	▲47	
一般管理販売費	543	464	▲79	
営業損益	▲248	134	382	スパンクリート事業 +328百万円増益 不動産事業 + 51百万円増益
営業外収益	28	27	▲1	
営業外費用	11	12	1	
経常損益	▲232	148	380	
特別損益	▲1, 626	▲48	1, 578	
税引前当期純損失	▲1, 858	99	1, 957	
法人税・住民税他	9	9	0	
法人税等調整額	▲336	▲1	▲335	
当期純利益	▲1, 531	92	1, 623	

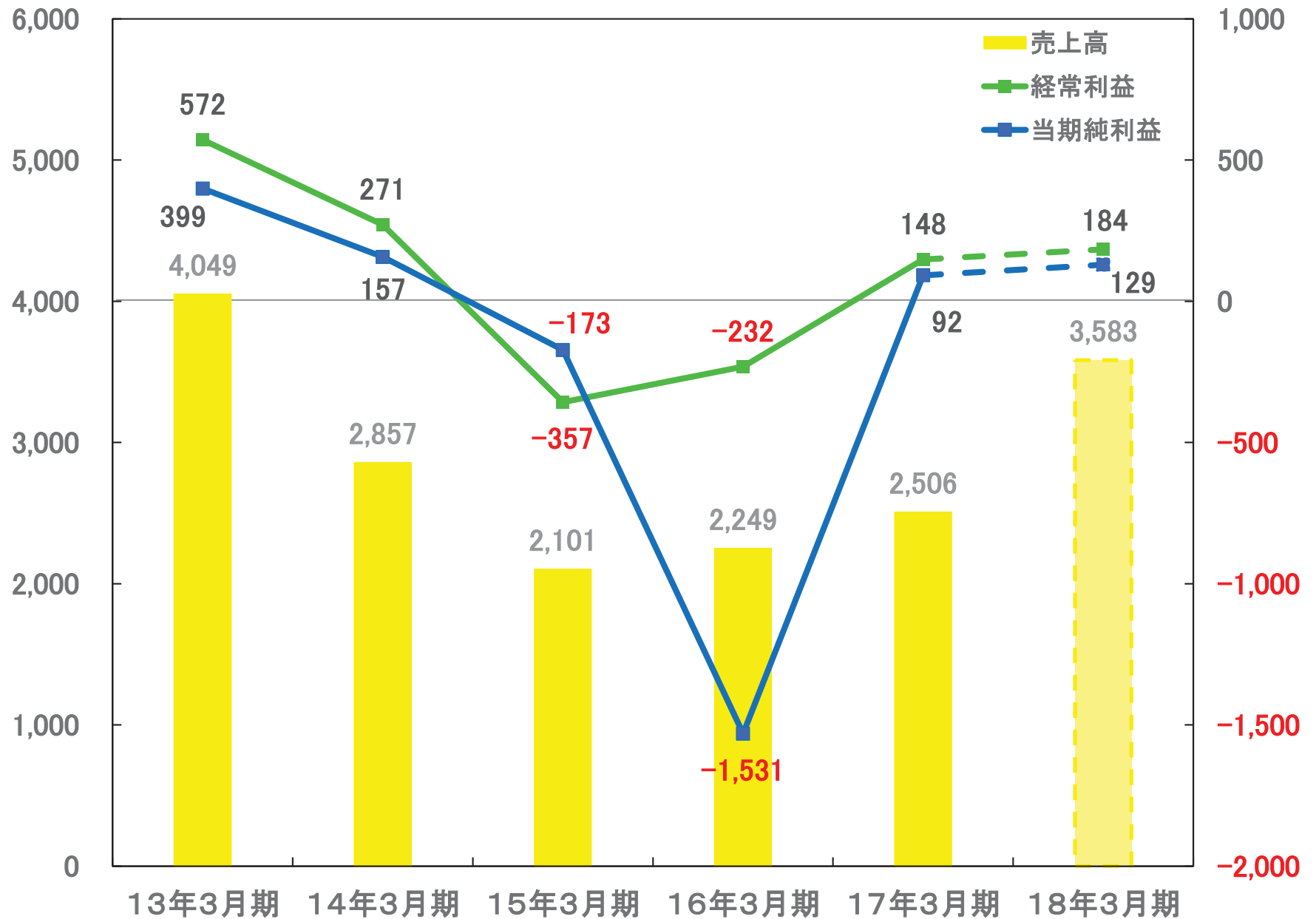
事業別概況

単位: 百万円

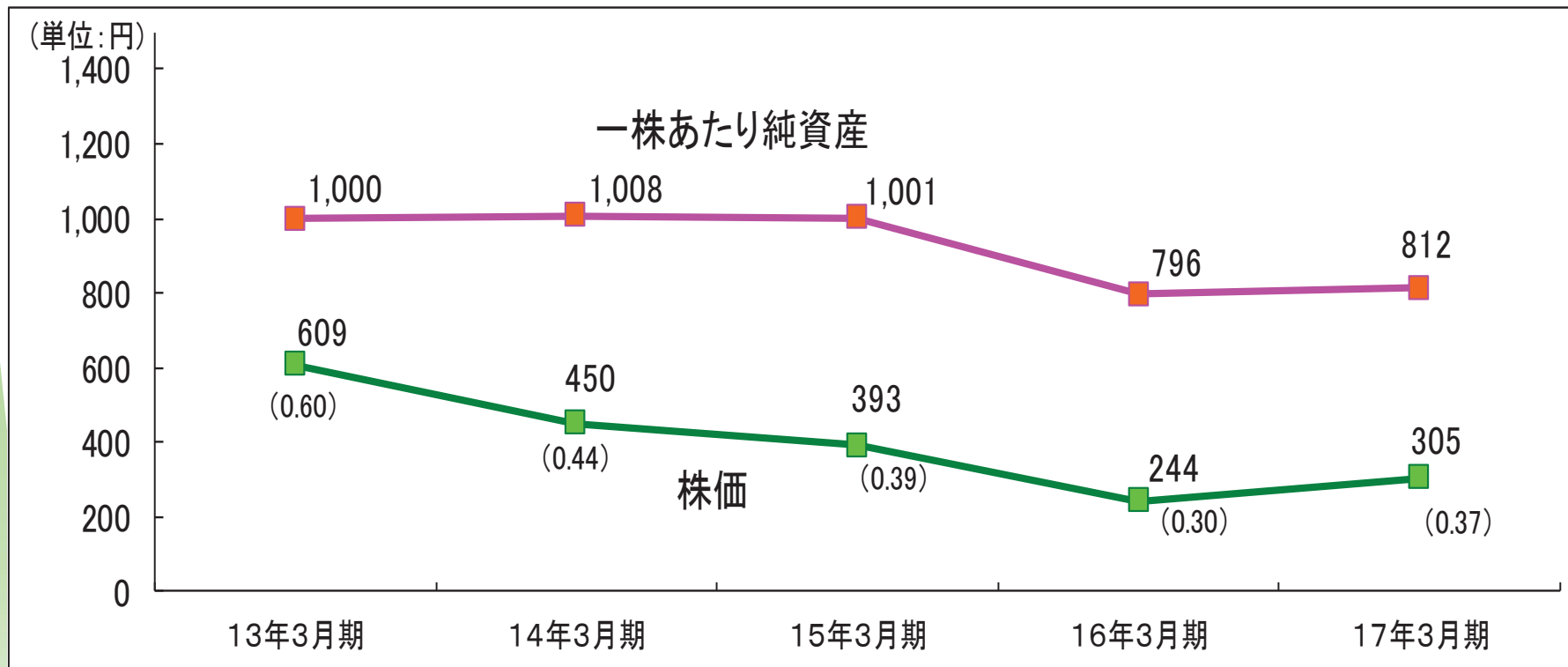
		13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	前年比増減
スパンクリート事業	売上高	3, 728	2, 530	1, 824	1, 979	2, 223	+244
	営業損益	391	80	▲474	▲324	4	+328
不動産事業	売上高	321	327	277	270	283	+13
	営業損益	173	170	111	79	130	+51
合計	売上高	4, 049	2, 857	2, 101	2, 249	2, 506	+257
	営業損益	561	246	▲370	▲248	134	+382

業績推移

(単位：百万円)



一株あたり純資産・株価（P B R）推移



ご清聴ありがとうございました

